

2022年2月12日(土)20:00~21:30、本会会員で、欧州復興開発銀行 (EBRD) にて事務局長をされておられます小口一彦氏をお招きしてオンライン報告会を開催しました。事前登録された会員15名程度が参加されました。お話の題目は「EBRD の中期戦略について (Green, Equal, Digital)」でした。

小口さんの略歴は以下の通り。MDB に算4度勤務をされておられます。
ご略歴：1981年東京大学経済学部卒業、現・財務省入省、1985年カリフォルニア大学バークレー校MBA取得、EBRD 出向 (中央アジア担当局長)、在英日本国大使館公使、大臣官房参事官 (関税局担当)、ADB 理事、国税庁税務大学校長、世界銀行理事等を経て、現在は EBRD 事務局長。

小口さんからは、添付の PDF 資料に基づき EBRD の沿革、特徴、活動状況、最近の課題について内容豊富なご説明がありました。詳細は添付資料をご覧ください。

参加会員の皆様のうち7名 (浅沼さん、小寺さん、高間さん、平竹さん、水野さん、門間さん他：以上五十音順) の方々からご質問を頂きました。①中国の少額出資比率の背景や今後の増資の可能性、EBRD の当初のサンセット方針の現況について、②EBRD が再生可能性エネルギーの注力した支援を行っているのは理解できるが、ベースロード電源の確保やニーズについて加盟国の反応は如何、③ウクライナの現況に鑑み、EBRD が検討していることは何か、④EBRD と EIB との差別化・連携・協調などはどうなっているか、⑤原子力発電への支援は行っているのか、⑥理事会のガバナンスや個別プロジェクトの承認手続きの現況如何、⑦ EBRD の協調融資の状況如何。

ご報告頂きました小口さんには心より感謝しております。ありがとうございました。

(記録：安間)